

新漁業調査船「たじま」 NEW

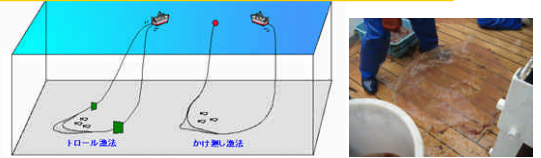
今度の調査船はここが違う

H21.7.28 に竣工しました!

船体が大きくなった



船の長さが旧調査船より10m長くなり、作業スペースが広くなりました。



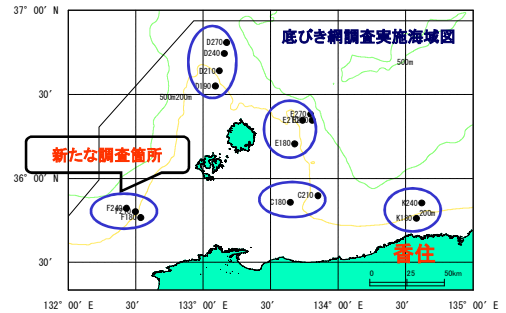
時化(しけ)に強い上に、但馬の漁船が使用しているかけ廻し網での試験操業ができます。

大型クラゲの入網を防ぐかけ廻し網の改良試験を実施します。

航海速度がアップした

航海速度が、10ノットから13ノットにアップしました。

(1ノット=1.852km/時)

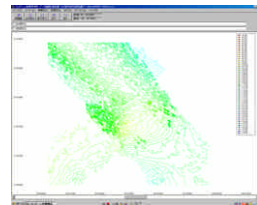
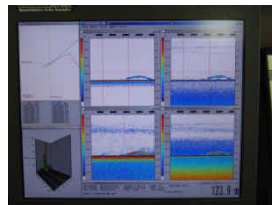


限られた日程で、広い海域を調査できます。

これまでより西の浜田沖でも調査を実施しました。

新しい装備が増えた

通常の漁船には搭載していない最新の調査機器を装備しています。



いろいろな情報を使った研究成果を漁業者に提供できます。

計量魚探: 魚群の大きさや量も解析できます。

海底地形探査装置: 海底の起伏を等深線や3Dで見ることができます。

CTD: コンピュータ制御で、海洋データを記録し、任意の水深で採水できます。

定員が増えた

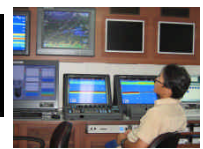
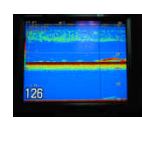
船員以外に乗船できる定員が、4名から10名(24時間以内なら30名)に増えました。



インドネシアからの研修生も体験実習



魚群探知機の反応と最新観測機器のデータを比べながら、漁業者とディスカッションします。



漁業者も調査に参画できます。

漁業者と意見交換しながらの協働研究や、研修を実施します。

【今後の活用】

漁業調査船「たじま」は、食育など農林水産業全体の振興を図るため、多くの人が活用できるよう配慮して建造しています。また、緊急時に対応できるよう、赤外線監視カメラ装置や衛星を使った高度な通信装置を装備しています。

【たじま主要目】

総トン数 199トン
長さ(全長) 44.50m・幅 7.60m・深さ 3.20m
主機関 ディーゼル機関 1,323kW(1,800馬力)
最高速度 15ノット (1ノット=1.852km/時)

航海速度 13ノット
航続距離 3,100海里(1海里=1.852km)
最大航海日数 10日
最大搭載人員 内訳 船員13名、その他10名 計23名
(24時間未満の場合) 内訳 船員13名、その他30名 計43名